



# 校長便り（職員編）

呉市立阿賀小学校  
安宗 誠

## 全員すらすら読めるようにしないと……

国語の1単元に、物語教材なら10時間くらいかけて扱うものもありますね。そうして時間をかけて扱った教材が終わるころ、どの児童も1人残らずその物語文をすらすら読める状態にする。これが、私がかつて教諭だったころ、自分の中でこだわっていたことでした。さらには、自分の心に残った箇所は暗唱できる。そういったことも目指していました。

教科書というのは、国の検定を合格した最高峰の教材ですから、その文章がすらすら読めたり、暗唱できたりということが、結果として、単元が終わるときには確実にできていることは今も昔も変わることなく大切なことだと思います。

音読を1時間の授業の中で何回も取り入れていますね。

音読にもいろいろなやり方があります。それらをうまく組み合わせて、声に出して読むこと。すらすら読むことの心地よさを毎時間実感させたいですね。

